

Patent Number: JP59018731U
Publication date: 1984-02-04
Inventor(s):
Applicant(s):
Requested Patent: JP59018731U
Application Number: JP19820114122U 19820729
Priority Number(s): JP19820114122U 19820729
IPC Classification: B65H3/06; B65H9/16
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

Data supplied from the esp@cenet database - 12

公開実用 昭和59—18731

19 日本国特許庁 (JP)

11 実用新案出願公開

12 公開実用新案公報 (C)

昭59—18731

51 Int. Cl.
B 65 H 3 06
9 16

識別記号

庁内整理番号
6694 3 F
6694 -- 3 F

43 公開 昭和59年(1984)2月4日

審査請求 未請求

(全 頁)

54 給紙装置

青梅市末広町2丁目9番地東京
芝浦電気株式会社青梅工場内

21 実 願 昭57-114122

21 出 願 人 東京芝浦電気株式会社

22 出 願 昭57(1982)7月29日

川崎市幸区堀川町72番地

72 号 案 者 昆野正紀

21 代 理 人 弁理士 則近憲佑 外1名

明 細 書

1. 考案の名称

給紙装置

2. 実用新案登録請求の範囲

- (1) 給紙台上に積載されている帳票の片側上面に接触するフィードローラを備え、このフィードローラを回転させて帳票を送り出す給紙装置において、前記フィードローラの支持軸に、帳票移送方向に伸びるシャフトを回動可能に取付け、該シャフトにて帳票上面を押さえて帳票を送り出すことを特徴とする給紙装置。
- (2) 前記シャフトを案内するレールを前記シャフトに近接して配設し、前記シャフトが帳票に触れない位置に前記シャフトを保持するストッパを、前記レールに設けたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の給紙装置。

3. 考案の詳細な説明

〔考案の技術分野〕

本考案は光学的文字読取装置に係り、特に、給紙台部に於ける帳票を補正して送り出す給紙装置

に関する。

〔 考案の技術的背景 〕

第 1 図乃至第 3 図は従来のこの種の給紙装置の一例を示した図であり、第 1 図は正面図、第 2 図は平面図、第 3 図は側面図である。給紙台 1 の一方の端部側にシートガイド 2 が立設されており、このシートガイド 2 により帳票 3 が揃えられて積まれている。又、給紙台 1 を固定している支持部材 4 にはフィードローラ 5 が取り付けられてあり、このフィードローラ 5 は、前記シートガイド 2 と反対側の帳票端部上面に接触するように配置されている。フィードローラ 5 の前方部にはビックローラ 6 が前記支持部材 4 に取り付けられている。

給紙台 1 の上に帳票 3 を積み上げ、この帳票 3 の片側を基準にし、この片側（基準面側）の上面に接触するフィードローラ 5 を回転させて帳票 3 を順次送り出す。

〔 背景技術の問題点 〕

上記従来例ではフィードローラ 5 は片側だけに付いている為、取り扱う帳票 3 のサイズや厚さが

制限され、又、帳票 3 の変形などによつて安定した送り出しが出来ないという欠点があつた。

〔 考案の目的 〕

本考案の目的は、常に安定して帳票を送り出すことが出来る給紙装置を提供することにある。

〔 考案の概要 〕

本考案の目的は、給紙台上に積んである帳票を送り出すフィードローラの支持軸に、送出方向と平行に伸びるシャフトを回動可能に取り付け、このシャフトで帳票上面を押えることにより達成される。

〔 考案の実施例 〕

以下本考案の一実施例を図面に従つて説明する。尚、従来例と同一部品は同一符号を用いて詳細な説明を省略する。

第 4 図乃至第 6 図は、本考案の給紙装置の一実施例を示す正面図、平面図及び側面図である。給紙台 1 の一方の端部にシートガイド 2 が立設されており、このシートガイド 2 により帳票 3 の片側を揃えている。前記シートガイド 2 とは反対側の

帳票 3 の上面には支持部材 4 に取り付けられているフイードローラ 5 が配置されている。帳票 3 側のフイードローラ 5 の支持軸にはシャフト 7 が回転可能に取り付けてある。このシャフト 7 の先端部は L 字状に折れ曲っており、つまみ 8 が取り付けられている。第 6 図及び第 7 図に特に示すように、前記シャフト 7 の先端部に近接してレール 9 が配設され、このレール 9 の両端にスペーサ 10 が取付けてある。

帳票 3 の補正が必要なときは、シャフト 7 を第 6 図及び第 7 図の A の位置に降して帳票 3 を押えて補正する。又、帳票 3 の補正が必要でない場合は、B の位置にシャフト 7 を上げることにより従来例と同様の動作を可能としている。尚、シャフト 7 はレール 9 に沿って移動する。又、第 7 図のレール 9 に形成された凹部 11 はシャフト 7 を上げた場合のストツパであり、シャフト 7 をこの B 位置に保持する。

本実施例によれば、帳票 3 のフイードローラ 5 側の片側を、シャフト 7 により押えて帳票 3 の変

形を補正しながら、前記フィードローラ 5 によつて帳票 3 を順次送出する為、帳票 3 が変形しやすい薄い帳票（上質紙×55mm速量）や、特殊な大きさ（横長帳票）のものでも、常に安定した送り出しを行うことが出来る。

【 考案の効果 】

以上記述した如く本考案によれば、フィードローラ 5 側の帳票の片側上面に、送り方向と平行にシャフトを乗せて帳票の変形を補正することにより、常に安定した帳票の送出を行い得る効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は従来の給紙装置の一例を示した正面図、第 2 図は第 1 図の平面図、第 3 図は第 1 図の側面図、第 4 図は本考案の給紙装置の一実施例を示した正面図、第 5 図は第 4 図の平面図、第 6 図は第 5 図の側面図、第 7 図は第 6 図に示したルール及びスペーサ部の詳細正面図である。

1 … 給紙台

2 … シートガイド

3 … 帳票

5 … フィードローラ

7 … シャフト

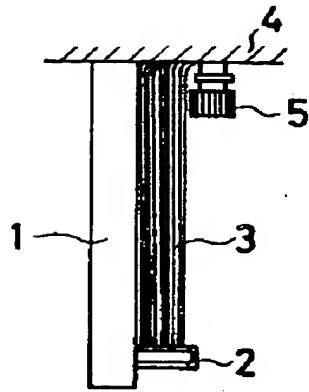
9 … レール

1 1 … 凹部

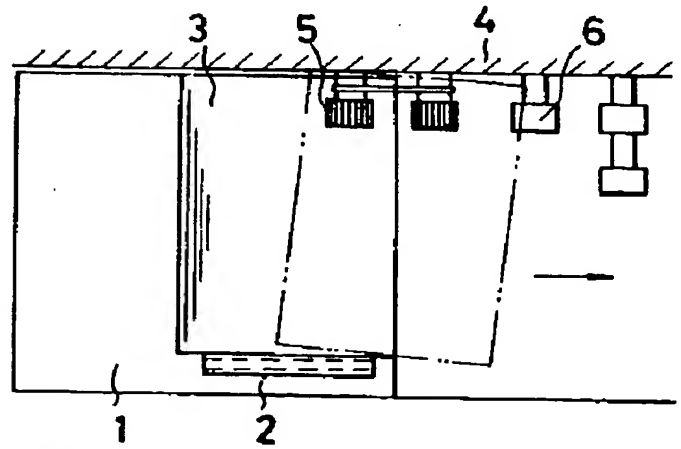
代理人 弁理士 則 近 憲 佑

(ほか 1 名)

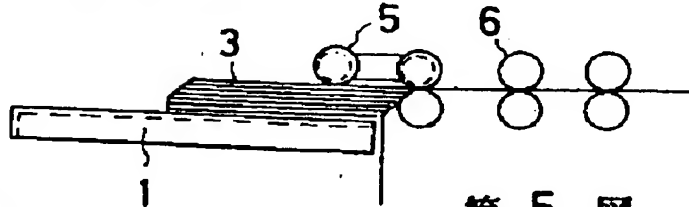
第 1 図



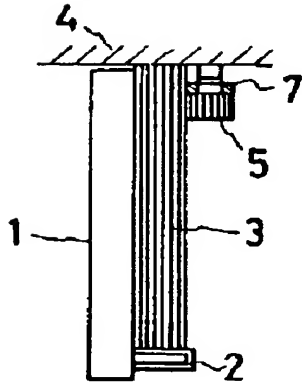
第 2 図



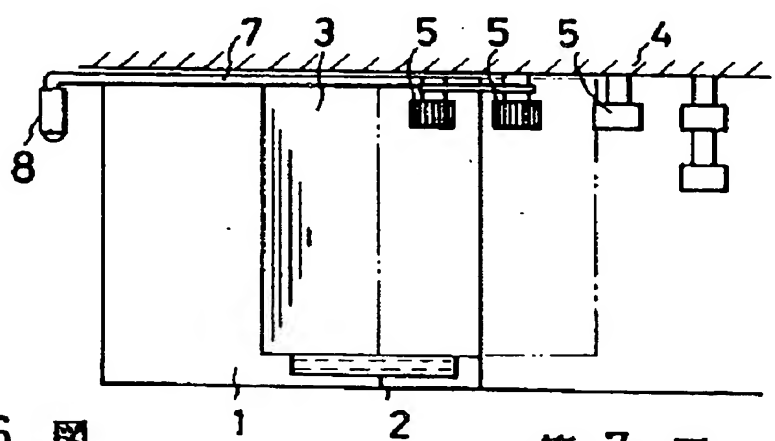
第 3 図



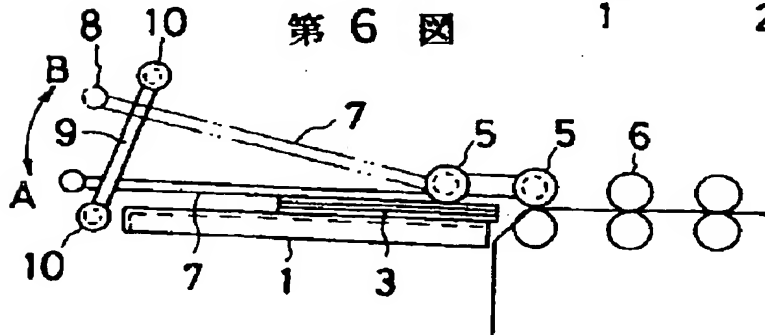
第 4 図



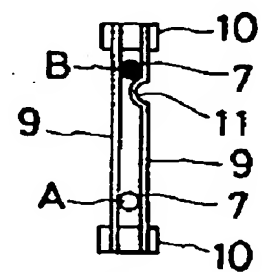
第 5 図



第 6 図



第 7 図



312

実開 59-18731

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.